

モニタリング結果報告書 (令和3年度)

1. 施設概要

施設名	秦野戸川公園	神奈川県立山岳スポーツセンター
所在地	秦野市堀山下・戸川・横野	秦野市戸川1392
サイトURL	http://www.kanagawa-park.or.jp/hadanotokawa/	http://www.kanagawa-park.or.jp/sangaku-sc/
根拠条例	神奈川県都市公園条例	神奈川県立山岳スポーツセンター条例
設置目的(設置時期)	公共の福祉の増進 (平成9年7月)	県民に登山に関する知識の取得、技術の向上及びレクリエーションの場を提供し、もって県民のスポーツの振興に寄与するため(平成9年7月)
指定管理者名	公益財団法人神奈川県公園協会	
指定期間	H27.4.1 ~ R4.3.31 (2015年) (2022年)	
施設所管課	都市公園課	スポーツ課

2. 総合的な評価

<h3>総合的な評価の理由と今後の対応</h3>
<p>※新型コロナウイルス感染症が3項目評価(利用状況、利用者満足度、収支状況)に与えた影響及び対応状況も含めて「総合的な評価の理由と今後の対応」を記載。</p>
<p>(一体としてのコメント) 新型コロナウイルス感染症による大型イベントの縮小や休館により、利用者数は目標値を下回りC評価となったが、利用者満足度はS評価となった。 公園と山岳スポーツセンターとの合同イベントなどの一体的な利用促進や駐車場利用状況の共有など、施設利用情報の共有化による効率的・効果的な施設運営を行っており、今後も、公園と山岳スポーツセンターの維持管理運営の相乗効果を十分に発揮できるよう、業務実施に努めてほしい。</p>
<p>■秦野戸川公園について</p> <p>利用状況の評価はC評価、利用者の満足度の評価はS評価、収支状況の評価はS評価で、3項目評価はB評価となった。 利用状況については、新型コロナウイルス感染症による大型イベントの規模縮小に伴い、利用者数は目標値を下回った。しかし、利用者の満足度については、快適な利用環境の確保に努めた結果、優良な結果となった。また、収支状況についても、自動車利用の増に伴う駐車場収入などの増加により、優良な結果となった。</p>
<p>■山岳スポーツセンターについて</p> <p>提案書に基づいた指定管理業務を着実に実施し、クライミング体験イベント等の自主事業を組み合わせることで利用者サービスの向上に努めたが、新型コロナウイルス感染症対策に伴う施設の休館により、利用状況の評価がC評価、利用者満足度の評価がS評価、収支状況の評価がS評価となったことから、令和3年度の3項目評価はB評価とした。利用状況の評価がC評価となったが、今後も引き続き、初心者向けのクライミング体験等の企画の更なる充実や各種学校・団体等への広報活動を工夫することにより、利用者の裾野の拡大とともに継続して利用してもらうための取組に努めてもらいたい。</p>
<p><各項目の詳細説明></p> <p>■秦野戸川公園について</p> <p>◆管理運営等の状況 「丹沢の自然に親しむアウトドアレクリエーションパーク」を総合的な管理運営方針として事業を実施した。一年を通じた花が楽しめる公園づくりや、地域と連携した管理運営を計画していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、「秦野戸川公園まつり」などのイベントや地域との共同防災訓練等の中止が余儀なくされたものの、実施方法を工夫して再開するなど、コロナ禍での公園利用サービスの提供に取り組んでいた。</p> <p>◆利用状況 利用者数が目標達成率83.3%で、C評価となった。</p> <p>◆利用者の満足度 上位2段階の回答割合が94.4%で、S評価となった。</p> <p>◆収支状況 計画対比で、駐車場などの収入の増が7,918千円となり、収支比率は105.26%で、S評価となった。</p> <p>◆苦情・要望等 施設破損に対する苦情が寄せられたが、速やかに修繕を行い、安全確保に努めた。</p> <p>◆事故・不祥事等 なし</p> <p>◆労働環境の確保に係る取組状況 県による監査、労働基準監督署からの指摘事項はない。</p>

■山岳スポーツセンターについて

◆管理運営等の状況

提案に基づいて指定管理業務を着実に実施するとともに、物販等の自主事業等を組みあわせて、利用者サービスの向上に努めた。また、施設開館20年以上が経過し施設の経年劣化が進んでいる中、今年度は管理者による施設の各種修繕（外周フェンス設置工事、光回線管路敷設工事、自火報知器交換工事、宿泊棟デッキ改修工事）及びエアコンを設置（研修・トレーニング室、食堂、厨房）し、利用者のより一層安全・安心で快適な利用環境の確保に努めた。また、秦野戸川公園との一体的な管理により、合同イベントの実施による利用者の利用促進、植物管理等、各種業務を相互に兼務することによる効率的・効果的な施設運営に努めているところであり、より一体的管理の強みを活かし、利便性の向上に努めてほしい。

◆利用状況

指定管理業務7年目（最終年）となり、引き続き秦野戸川公園と連携したイベントや体験クライミングの実施等利用者増加に向けた管理運営を計画したが、昨年度同様、新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う施設の臨時休館の影響もあり、全体的には前年度並みの結果となった。このため、利用者数においては、利用制限や中止により、年間利用者数は、前年度3,958人と同規模の3,964人の利用となった。また、宿泊や研修についても利用の中止や収容人数の50%利用の制限を設けたため、合宿などの大人数による利用もなかったため、管理目標としていた11,000人を達成できなかった。

◆利用者の満足度

新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴い臨時休館の措置を講じたことにより、3月のみ実施し、上位2段階の回答割合が97.5%となったため、S評価となった。昨年度に引き続き回収率は下がったものの、新型コロナウイルス感染症対策として利用人数の制限、厨房利用に伴う人数制限等を講じ、利用者から御理解・御協力を得ることができた。

◆収支状況

利用料金収入は、新型コロナウイルス感染症対策に伴う施設の臨時休館や利用制限の影響により、宿泊施設やクライミング利用が減少したため、当初予算額の83.7%と大幅減となった。新型コロナウイルス感染症拡大防止を目的とした事業の中止等により、補償等増加費用が生じたため、山岳スポーツセンターの管理に関する基本協定書第66条の規定に基づき、増加費用等の負担について、県と協議を行い、収支差額は1,036千円のプラスとなった。

◆苦情・要望等

職員による定期的な点検を踏まえた修繕を施すなど、適切な対応に努めた。

◆事故・不祥事等

日頃から職員による施設の日常点検や、専門業者への委託による施設機器、クライミングウォール等の保全に努めた結果、施設の管理不備が原因となる事故や怪我は発生していない。

◆労働環境の確保に係る取組状況

県による監査、労働基準監督署からの指摘事項はない。

◆その他

令和3年度の3項目評価はA評価となった。今後も引き続き、初心者向けのクライミング体験等の企画の更なる充実や各種学校・団体等への広報活動を工夫することにより、東京五輪開催の注目を契機とした一時の盛り上がりとせず、利用者の裾野の拡大とともに継続して利用してもらうための取組に努めてもらいたい。

3. 3項目評価の結果

B	3項目評価 (施設別)		利用状況 (項目6参照)	利用者の 満足度 (項目7参照)	収支状況 (項目8参照)	3項目評価とは、3つの項目（利用状況、利用者の満足度、収支状況）の評価結果をもとに行う評価をいう。 S：極めて良好 A：良好 B：一部改善が必要 C：抜本的な改善が必要
	<参考> 秦野戸川公園	B	C	S	S	
	<参考> 山岳スポーツセンター	B	C	S	S	

【秦野戸川公園】

4. 定期・随時モニタリング実施状況の確認

月例業務報告 確認	遅滞・特記事項があった月	特記事項または遅滞があった場合はその理由
	該当なし	
現地調査等 の実施状況	実施頻度	現地調査等の内容
	2週間に1回程度	
意見交換等 の実施状況	実施頻度	意見交換等の内容
随時モニタリングにおける 指導・改善勧告等の 有無	有・無	指導・改善勧告等の内容

5. 管理運営等の状況

[指定管理業務]

事業計画の主な内容	実施状況等	実施状況に関わるコメント
効率的・効果的な管理運営	<ul style="list-style-type: none"> 山岳スポーツセンターと管理スタッフの兼務による一元的管理を行った。 公園での星空観察と山岳スポーツでのクライミング、宿泊をセットにした体験プログラムを平成29年度から継続しており、令和3年度も実施を予定していたが、令和2年度同様、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。 	
都市近郊のアウトドア空間の魅力向上と健康・スポーツの振興	<ul style="list-style-type: none"> 地域を代表する花修景地として、7万本のチューリップ植付けを始め、アジサイ、ヒマワリ、コスモスなど、一年を通じた修景演出により魅力向上を図った。 公園内にウォーキングコースを3コース設定し、ウォーキングコースマップの配布や園路沿いにウォーキングポストを設置するなど、健康増進に積極的に取り組んでいた。 	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症対策として、これまで行ってきた自由参加によるチューリップの植え付けを事前申し込み式に変更し、小グループで実施したところ、混雑回避が図られ、コロナ禍の時間の過ごし方として有意義であったとの評価が得られるなど、参加者に好評だった。
広域利用の拡大も視野に入れた地域振興の核になる公園づくり	<ul style="list-style-type: none"> 市や観光協会、自治会、ボランティア団体等で構成された公園利用運営会議を継続し、課題調整に努めた。 地域と連携して公園まつりなどを計画していたが、中止した。 登山啓発等を目的とする市後援のイベントへ協力し、新たな利用者層や広域利用の拡大に努めた。 ボランティアとの協働で、おきな草の育成や森林管理を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> 公園利用運営会議は新型コロナウイルス感染症の影響により、対面を避けて書面開催した。 公園まつりなどの参加者の多いイベントは、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。

防災と安全を強化した運営管理	<ul style="list-style-type: none"> ・夏休み期間中は、川遊びの利用者が非常に多いことから、常駐監視として、利用者に声掛けしながらの巡視を積極的に行い、安全確保を図った。 ・気象情報を確認しながら、河川の監視を行い、必要と判断される場合は河川内園路の通行止め措置や川遊び禁止の呼び掛けを行い、安全確保に努めた。 ・災害時に活用できる公園施設の確認など、地域との共同防災訓練の実施を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域との共同防災訓練の実施を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。
適切な植物管理、清掃管理	<ul style="list-style-type: none"> ・こまめな除草など、茶室庭園や花壇の高品位な植物管理を実施した。 ・川遊びや登山など利用者が集中する時期には、臨機応変に施設清掃を行い、快適な空間の提供に努めた。 ・河川内園路の滞水防止のため、頻繁な落葉除去により、利用者の快適性を確保した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍における快適な利用環境の確保に努めた結果、前年度と同様の利用者満足度が得られた。

※指定管理業務に与えた新型コロナウイルス感染症の影響等がある場合、対応状況も含めて、「実施状況等」欄に記載。

[参考：自主事業]

事業計画の主な内容	実施状況等
駐車場の管理運営	混雑時に臨時駐車場を開設し、県道を含めた渋滞緩和を図った。特に今回は夏季シーズン中に想定外の車による来園が多く、連日、臨時駐車場を開設した。
自動販売機の設置	利用者へのサービス向上や熱中症予防を目的に、利用者の多いエリアを中心として、自動販売機を設置した。
茶室・バーベキュー場の管理運営	茶室「おおすみ山居」に茶道の資格を持つスタッフを配置し、抹茶や季節の主菓子等の提供を行い、利用促進に努めた。また、バーベキュー場では食材を提供する「手ぶらコース」を設け、手軽に利用しやすくするなど新たなサービス提供に努めた。

※自主事業に与えた新型コロナウイルス感染症の影響等がある場合、対応状況も含めて、「実施状況等」欄に記載。

6. 利用状況

評価	<<評価の目安>> 目標値を設定し目標達成率で、S：110%以上 A：100%以上～110%未満 B：85%以上～100%未満 C：85%未満 ※施設の特性から利用状況の評価を行わない場合は「目標値の設定根拠」欄に当該理由を、「目標値」欄に代わりとなる数値（定員数等）を記載してください（女性保護施設と県営住宅等が該当）。
C	

	前々年度	前年度	令和3年度
利用者数※	602,890	447,760	416,340
対前年度比		74.3%	93.0%
目標値	500,000	500,000	500,000
目標達成率	120.6%	89.6%	83.3%

目標値の設定根拠： 提案書の目標値から推定

利用者数の算出方法（対象）： パークセンターセンサーによるカウント数より推計＋茶室、バーベキュー等利用者数

※原則は人数だが、施設の状況等により変更可能。単位を変更した場合はその理由

<備考>

【新型コロナウイルス感染症が利用状況に与えた影響と対応状況】
 （※新型コロナウイルス感染症の影響により評価結果がCとなった場合は必ず記載）

①新型コロナウイルス感染症が利用状況に与えた影響
 「チューリップフェア」、「秦野丹沢まつり」等のイベント規模の縮小などにより、4月と5月の合計来園者数は、令和元年度の約201,600人が、令和2年度は約57,000人（前年度比28.3%）、令和3年度は約98,400人（令和元年度比48.8%）と大幅に減少した。

②令和3年度の対応状況
 まん延防止等重点措置期間の解除後、基本的な感染防止対策を講じながら、順次、イベントを再開した。

7. 利用者の満足度

評価	≪評価の目安≫ 「満足」（上位二段階の評価）と答えた割合が、S：90%以上 A：70%以上～90%未満 B：50%以上～70%未満 C：50%未満 ※評価はサービス内容の総合評価の「満足」回答割合で行う。
S	

	協定に定めた調査内容	実施結果と分析
満足度調査の実施内容	指定管理者による簡易アンケートは通年、詳細アンケートは年2回実施。	本報告書では、県による休日3回、平日3回の計6回調査の結果を使用する。 指定管理者による適切な公園管理により、前年度よりも満足度が高くなった。

[サービス内容の総合評価]

質問内容 公園の管理運営状況を総合的に見るといかがでしたか

実施した調査の配布方法 利用者に直接配布 回収数/配布数 125 / 125 = 100.0%

配布(サンプル)対象 公園利用者

	満足	どちらか といえば 満足	どちらで もない	どちらか といえば 不満	不満	合計	満足、不満に回答があった場合はその理由
サービス内容の総合評価の回答数	100	18	4	3	0	125	
回答率	80.0%	14.4%	3.2%	2.4%	0.0%		
前年度の回答数	85	13	2	5	0	105	
前年度回答率	81.0%	12.4%	1.9%	4.8%			
回答率の対前年度比	98.8%	116.3%	168.0%				

(複数回実施した場合は、平均値を記載。)

<備考>

【新型コロナウイルス感染症が利用者満足度に与えた影響と対応状況】
 (※新型コロナウイルス感染症の影響により評価結果がCとなった場合は必ず記載)

①新型コロナウイルス感染症が利用者満足度に与えた影響
 新型コロナウイルス感染症の影響等に関しては「2. 総合的な評価」欄を参照

②令和3年度の対応状況
 新型コロナウイルス感染症の影響等に関しては「2. 総合的な評価」欄を参照

8. 収支状況

評価	《評価の目安》 収支差額の当初予算額：0円の施設が該当 収入合計/支出合計の比率が S(優良)：105%以上 A(良好)：100%～105%未満 B(概ね計画どおりの収支状況である)：85%～100%未満 C(収支比率に15%を超えるマイナスが生じている)：85%未満
S	

[指定管理業務]

(単位:千円)

		収入の状況				支出の状況	収支の状況		
		指定管理料	利用料金	その他収入	その他収入の主な内訳	収入合計	支出	収支差額	収支比率
前々年度	当初予算	94,780	830	23,803	駐車場：21,828 自販機：1,975	119,413	119,413	0	
	決算	94,780	747	25,819	駐車場：23,763 自販機：2,056	121,346	114,462	6,884	106.01%
前年度	当初予算	99,000	830	23,951	駐車場：21,976 自販機：1,975	123,781	123,781	0	
	決算	102,704	448	31,521	駐車場：28,525 自販機：2,839 雇用調整 助成金：157	134,673	119,222	15,451	112.96%
令和3年度	当初予算	99,070	830	23,984	駐車場：22,009 自販機：1,975	123,884	123,884	0	
	決算	99,070	538	31,902	駐車場：29,222 自販機：2,680	131,510	124,944	6,566	105.26%

※支出に納付金が含まれる場合、その内数 (単位:千円)

令和3年度 / 前年度 / 前々年度 /

<備考>

【新型コロナウイルス感染症が収支状況に与えた影響と対応状況】
 (※新型コロナウイルス感染症の影響により評価結果がCとなった場合は必ず記載)

①新型コロナウイルス感染症が収支状況に与えた影響
 新型コロナウイルス感染症の影響等に関しては「2. 総合的な評価」欄を参照

②令和3年度の対応状況
 新型コロナウイルス感染症の影響等に関しては「2. 総合的な評価」欄を参照

9. 苦情・要望等 該当なし

分野	報告件数	概要	対応状況
施設・設備	1 件	立入禁止を示すロープ柵のロープのたるみ、柵の劣化	速やかに補修し、安全確保に努めた。
	件		
職員対応	件		
	件		
事業内容	件		
	件		
その他	件		
	件		

※指定管理者に起因するものを記載。その他、苦情・要望への対応を行ったものを記載。

10. 事故・不祥事等 該当なし

発生日	①発生時の詳細な状況 ②県職員による確認の状況（内容及び実施日を記入） ③その後の経過（現在に至るまでの負傷者の状況、再発防止策等） ④施設に対する問題点の指摘やクレームの有無（有の場合は概要を記入） ⑤原因及び費用負担の有無（費用負担が有の場合は内容および負担者を記入） ⑥記者発表の有無（有の場合はその年月日を記入）
	① ② ③ ④ ⑤ ⑥

※随時モニタリングを実施した場合は必ずその内容を記載。

※過去に発生したものでも、新たな対応等を実施した場合には、その内容を記載。

※なお、大きな事故・不祥事について改善勧告を行わなかった場合は、その理由を併せて記載。

11. 労働環境の確保に係る取組状況

確認項目	指摘事項の有無	備考
法令に基づく手続き	無	
職員の配置体制	無	
労働時間	無	
職場環境	無	

※指摘事項は、県による監査（包括外部監査含む）又は労働基準監督署によるものとし、有とした場合は備考欄に概要を記載。

【山岳スポーツセンター】

4. 定期・随時モニタリング実施状況の確認

月例業務報告 確認	遅滞・特記事項があった月	特記事項または遅滞があった場合はその理由
	該当なし	
現地調査等 の実施状況	実施頻度	現地調査等の内容
	令和3年4月6日 令和4年1月26日	指定管理者から提出された書類の記載内容と現地の状況を照合した結果、適切に指定管理業務等が履行されていることを確認した。
意見交換等 の実施状況	実施頻度	意見交換等の内容
	令和3年5月14日 令和3年10月19日	県と指定管理者との間で意見交換を実施し、コロナ禍における施設の管理運営上の課題等を情報共有した。
随時モニタリングにおける 指導・改善勧告等の 有無	有・無	指導・改善勧告等の内容

5. 管理運営等の状況

〔 指定管理業務 〕

事業計画の主な内容	実施状況等	実施状況に関わるコメント
指定管理業務実施に当たっての考え方、運営方法等について	施設の設置目的及び山岳スポーツの拠点施設であることを十分に理解して施設運営を行った。	
秦野戸川公園との一体的な管理運営について	<ul style="list-style-type: none"> ・秦野戸川公園内にある3施設（秦野戸川公園、秦野ビジターセンター、山岳スポーツセンター）で利用促進、課題の改善に向け連携を図った。 ◆新型コロナウイルス感染症拡大防止のためイベントは中止とした。 ・3館合同イベント ・親子体験クライミング ・夏の星空観察と親子体験クライミング 	
利用者や地域住民、環境等に配慮した管理運営方針について	<ul style="list-style-type: none"> ・日頃から「公平」、「透明性」、「厳正」に対応した。 ・利用者満足度アンケートを実施し利用者ニーズの把握に努めた。 ・ゼロエミッション等環境に配慮した施設の維持管理に努めた。 	

<p>スポーツ・競技振興について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・登山愛好者やクライミングウォール愛好者はもとより、全ての利用者に対してもきめ細かく対応し、スポーツの振興に努めた。 ・神奈川県山岳連盟と連携し、競技人口の増加、競技者のレベルアップ、大会をサポートすることによって、競技の振興を目指します。 (連携事業) ○2021年度スポーツクライミング神奈川県代表選考会兼ジュニア強化選手選考会 ○第59回神奈川県高校総体兼全国高校総体県予選会 ○神奈川県選抜スポーツクライミング大会 ○親子でチャレンジクライミング ○第35回県民登山 ○クライミング教室 ○登山教室 ◆新型コロナウイルス感染症拡大防止のためイベントは中止とした。 ・親子体験クライミング（秦野丹沢まつり） ・星空観察と体験クライミング ・山の日イベント ・親子シャワークライミング ・スポーツ月間 ・県民スポーツ月間 施設無料開放中止・秦野戸川公園まつり（体験クライミング） ・三館合同イベント 	
<p>施設の維持管理について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・秦野戸川公園との一体的な管理運営となり、清掃管理は委託することにより、常に清潔で快適な環境の維持に努めた。また、植物管理等については業務を相互に兼務するなど、効率的な維持管理に努めた。 ・電気設備点検、クライミングボード点検、害虫消毒等高度な技術や専門的な資格を要する業務については専門業者に委託し、適正な維持管理に努めた。 ・新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、「屋内施設（宿泊室・研修室等）における新型コロナウイルス対応ガイドラインにより利用者の検温、体調管理の報告を定め、館内においては、マスクの着用、手指消毒の徹底、使用後には職員による定期消毒を行うなど、感染症拡大防止に努めた。 	
<p>利用促進を図るために行う広報、PR活動、登山・山岳競技等の振興に関する取組</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「山岳スポーツセンター条例」及び「利用等に関する規則」を遵守し利用者の確保に努めた。 ・ホームページによる情報（各種イベント案内）や施設案内を掲示することによって、施設の利用が円滑に行われるよう努めた。 ・クライミング人気が高まるようツイッターやインスタグラムによる情報を発信し、施設利用者を増やすよう努めた。 ・神奈川県山岳連盟との連携を図り、クライミング教室、登山教室等円滑な事業の実施に取り組み、利用者の視野拡大に努めた。 	

<p>利用促進を図るためのサービス（接客、ニーズ、苦情の把握処理）の向上に関する取組</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者満足度調査を実施し、要望可能な事項については対応した。 ・利用者の声に耳を傾けつつホームページ、パンフレット、施設利用案内チラシで丁寧に説明し、利用者の御理解を頂きながら利用承認事務を行った。また、施設予約状況を小まめに更新し利用者の利便を図った。 ・夏場の屋外クライミング施設への日除けや大型扇風機の設置を行い利用者の快適利用を図った。 ・宿泊棟各部屋（和室・洋室）のカーテンを夏冬で交換し、利用者の快適利用を図った。 	
<p>事故防止等安全管理</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・事故防止、火災防止や犯罪発生防止のため、職員不在の夜間、休館日の機械警備委託を行い安全の確保に努めた。 ・「事故防止点検マニュアル」により日常点検を実施して、事故防止に努めるとともに、利用者への利用開始前の事故防止の周知を行った。 ・事故や災害発生時等の緊急時の体制及び初動対応に従い、適切な備えを行った。警報発表時には必ず施設のパトロールを実施した。 ・年2回の消防訓練を実施し、災害時には安心安全に避難・誘導・指示等適切な判断が行えるように努めた。 	
<p>地域と連携した魅力ある施設づくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・登山者遭難救助連絡会で得た情報を登山愛好者や登山教室で伝え、安全な登山の一助に努めた。 ・地域に精通している地域企業への優先発注のほか、地元非営利団体等への業務委託を行った。 ・地元中学校の職場体験の受け入れなど地域との連携を計画していたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止とした。 	

※指定管理業務に与えた新型コロナウイルス感染症の影響等がある場合、対応状況も含めて、「実施状況等」欄に記載。

[参考：自主事業]

事業計画の主な内容	実施状況等
<p>利用者サービス向上のための物販等</p>	<p>自炊施設であるため、食事機能の補完として、バーベキューセットの貸出を計画していたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止とした。また、食事機能の補完としては地元仕出し屋の幹旋及びカップ麺の販売などを行い好評を得た。 《実績》カップ麺 11件</p>

※自主事業に与えた新型コロナウイルス感染症の影響等がある場合、対応状況も含めて、「実施状況等」欄に記載。

6. 利用状況

評価	<<評価の目安>> 目標値を設定し目標達成率で、S：110%以上 A：100%以上～110%未満 B：85%以上～100%未満 C：85%未満 ※施設の特徴から利用状況の評価を行わない場合は「目標値の設定根拠」欄に当該理由を、「目標値」欄に代わりとなる数値（定員数等）を記載してください（女性保護施設と県営住宅等が該当）。
C	

	前々年度	前年度	令和3年度
利用者数※	11,713	3,958	3,964
対前年度比		33.8%	100.2%
目標値	11,500	11,000	11,000
目標達成率	101.9%	36.0%	36.0%

目標値の設定根拠： 平成24年度11千人の約5%増
 （ただし、オリンピック開催に伴う事前キャンプが実施された場合の期間中の利用減を見込み、前年度同様500人減）

利用者数の算出方法（対象）： 宿泊利用、宿泊を伴わない休憩利用、研修室利用、屋外クライミングウォールの利用者をカウント

※原則は人数だが、施設の状況等により変更可能。単位を変更した場合はその理由

<備考>

【新型コロナウイルス感染症が利用状況に与えた影響と対応状況】 （※新型コロナウイルス感染症の影響により評価結果がCとなった場合は必ず記載）

①新型コロナウイルス感染症が利用状況に与えた影響
 前年から引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、年度当初から臨時休館の措置をしたため、秦野戸川公園と連携したイベントや体験クライミングイベントは中止とした。緊急事態宣言解除（10/24）を受けて、10/26から利用再開としたが、感染者数の減少は見られないため、一部イベントの開催は中止とした。このため、年間利用者数は、前年度3,958人と同規模の3,964人であった。また、宿泊や研修についても利用の中止や収容人数の50%利用の制限を設けたため、合宿などの大人数による利用もなかった。

②令和3年度の対応状況
 屋内施設（宿泊室・研修室等）及び屋外施設（クライミングウォール）における「新型コロナウイルス対応ガイドライン」を遵守の上、利用者の検温、体調（感傷症状や味覚・嗅覚障害）管理（チェックリスト）の提出及び受付においては、アルコール手指消毒液、ビニールカーテン（飛沫防止）の設置し、利用時間の制限や人数制限による管理を継続して実施した。
 また、職員についても出勤時には体温チェック、体調管理の確認、手洗い・手指消毒、換気等を継続して実施している。利用者には施設内では感染防止対策に努め、食堂においては、対面着席の回避、短時間での利用、マスク飲食、厨房内では人数制限の周知を図った。
 トイレ、宿泊室、研修室、食堂等施設使用後には職員による定期消毒（午前午後各1回、宿泊時夜間1回）や利用状況に合わせ、随時実施した。クライミング利用においては、上記のほか、クライミングボード利用開始前後、休憩前後、飲食前後、トイレ利用後等こまめに消毒や手洗いをを行うよう、また、滑り止めチョーク、ロープ、タオル、飲食物等の共有は行わないなど継続して実施した。

7. 利用者の満足度

評価	<<評価の目安>> 「満足」（上位二段階の評価）と答えた割合が、S：90%以上 A：70%以上～90%未満 B：50%以上～70%未満 C：50%未満 ※評価はサービス内容の総合的評価の「満足」回答割合で行う。
S	

	協定に定めた調査内容	実施結果と分析
満足度調査の実施内容	年間2回（9月と翌年3月） ※新型コロナウイルス感染症に伴う臨時休館の措置をしたため9月未実施	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う臨時休館等のため、年1回実施した。 利用者の声を反映させた施設の維持管理が評価されたため、上位2項目の割合が合計97.5%と高い満足度を得ている。

[サービス内容の総合的評価]

質問内容 施設の管理に対する満足度について該当する印象に○をつけてください。

実施した調査の配布方法 窓口で配架、利用者等に直接配布 回収数/配布数 79 / 88 = 89.8%

配布(サンプル)対象 施設利用者

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	合計	満足、不満に回答があった場合はその理由
サービス内容の総合的評価の回答数	42	35	2	0	79	「明るく清潔で、快適に過ごせる施設」の意見
回答率	53.2%	44.3%	2.5%	0.0%		
前年度の回答数	29	25	0	0	54	
前年度回答率	53.7%	46.3%				
回答率の対前年度比	99.0%	95.7%				

(複数回実施した場合は、平均値を記載。)

<備考>

【新型コロナウイルス感染症が利用者満足度に与えた影響と対応状況】
 (※新型コロナウイルス感染症の影響により評価結果がCとなった場合は必ず記載)

①新型コロナウイルス感染症が利用者満足度に与えた影響
 新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う臨時休館の措置、再開後の利用人数の制限、厨房内人数制限等感染対策を講じたが、利用者から御理解・御協力を得た。

②令和3年度の対応状況
 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、引き続きガイドラインを遵守の上、利用者への検温、体調チェックの提出、マスクの着用、アルコール消毒等の対応に努めた。

8. 収支状況

評価	《評価の目安》 収支差額の当初予算額：0円の施設が該当 収入合計/支出合計の比率が S(優良)：105%以上 A(良好)：100%～105%未満 B(概ね計画どおりの収支状況である)：85%～100%未満 C(収支比率に15%を超えるマイナスが生じている)：85%未満
S	

[指定管理業務]

(単位：千円)

		収入の状況					支出の状況	収支の状況	
		指定管理料	利用料金	その他収入	その他収入 の主な内訳	収入合計	支出	収支差額	収支比率
前々年度	当初予算	9,598	6,005	0	0	15,603	15,603	0	
	決算	9,598	5,606	0	0	15,204	14,351	853	105.94%
前年度	当初予算	16,418	5,196	0	0	21,614	21,614	0	
	決算	18,083	1,086	0	0	19,169	18,954	215	101.13%
令和3年度	当初予算	15,873	6,266	0	0	22,139	22,139	0	
	決算	18,647	1,022	0	0	19,669	18,633	1,036	105.56%

※支出に納付金が含まれる場合、その内数

(単位：千円)

令和3年度 / 前年度 / 前々年度 /

<備考>

【新型コロナウイルス感染症が収支状況に与えた影響と対応状況】
(※新型コロナウイルス感染症の影響により評価結果がCとなった場合は必ず記載)

①新型コロナウイルス感染症が収支状況に与えた影響
新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う臨時休館の措置により、秦野戸川公園と連携したイベントや体験クライミングイベントは、利用制限又は中止し、利用収入は、前年度1,086千円に引き続き1,022千円の利用に留まりました。
また、宿泊や研修についても利用の中止や収容人数の50%利用の制限を設けたため、合宿などの大人数による利用もなかった。

②令和3年度の対応状況
新型コロナウイルス感染症に伴う臨時休館の措置により、指定管理業務について、新型コロナウイルス感染症拡大防止を目的とした事業の中止等により、損害・損失や増加費用が生じたため、山岳スポーツセンターの管理に関する基本協定書第66条の規定に基づき、増加費用等の負担について、県と協議を行った。
【臨時閉館の影響額 (2,774千円)】

9. 苦情・要望等 該当なし

分野	報告件数		概要	対応状況
施設・設備	要望	3 件	①Wi-Fiが繋がると良い ②風呂の有無 ③食堂の暖房が弱く寒い	①幅広く利用できるよう課題とする ②設置の増設は難しいため、市内のスーパー銭湯の割引券を配布 ③暖かい空気が逃げってしまうので、2階上部に天幕を設けて対応
		件		
職員対応		件		
		件		
事業内容		件		
		件		
その他		件		
		件		

※指定管理者に起因するものを記載。その他、苦情・要望への対応を行ったものを記載。

10. 事故・不祥事等 該当なし

発生日	①発生時の詳細な状況 ②県職員による確認の状況（内容及び実施日を記入） ③その後の経過（現在に至るまでの負傷者の状況、再発防止策等） ④施設に対する問題点の指摘やクレームの有無（有の場合は概要を記入） ⑤原因及び費用負担の有無（費用負担が有の場合は内容および負担者を記入） ⑥記者発表の有無（有の場合はその年月日を記入）
	① ② ③ ④ ⑤ ⑥

※随時モニタリングを実施した場合は必ずその内容を記載。

※過去に発生したものでも、新たな対応等を実施した場合には、その内容を記載。

※なお、大きな事故・不祥事について改善勧告を行わなかった場合は、その理由を併せて記載。

11. 労働環境の確保に係る取組状況

確認項目	指摘事項の有無	備考
法令に基づく手続き	無	
職員の配置体制	無	
労働時間	無	
職場環境	無	

※指摘事項は、県による監査（包括外部監査含む）又は労働基準監督署によるものとし、有とした場合は備考欄に概要を記載。